

Ⅲ 会派要望（抜粋）

会派要望とは、市議会議員が数名で構成しているグループ（会派）として、毎年次年度以降の政策や予算への反映を望み市長に対し要望する内容で、私が現在代表を務める会派（明風会）では以下の内容を要望しましたのでご報告させていただきます【要望内容、一部抜粋】。我が会派では、既存の課題の解決は勿論必要なことと捉えた上で、更にこれらの要望を実現することが現在の高砂市にとって必要であるとの考えに基づいた要望です。

	要望内容	行政回答[抜粋](令和6年1月時点)	行政からの回答を受けての私の見解
市政方針・庁舎	「〇〇で日本一」に取り組むシビックプライドの醸成(横断歩道歩行者優先のまち等)	継続 「認知度・都市イメージの向上」と「市民の誇り・愛着の醸成」を基本目標に「高砂市職員のためのシティープロモーション行動指針」を策定、この浸透を図る。	私は現在の行政の手法で市民に誇りが醸成されるとは考えておらず、継続してこの施策を推進すると共に自らも実現に向けて行動を起こしたい。
地域活動推進	市民活動をサポートする体制づくり(今後配置される地域担当職員の有意義な配置)	新規 来年度に開設する地域交流センターには正規職員等の配置を検討中。地域住人のお困り事の解決や市民活動のサポートを行い、地域コミュニティの活性化を目指す。	ここに配置される職員は地域の課題の相談役を担う。住人の満足度を高める対応となる様にその仕事遂行状況を注視していきたい。
まちづくり・安全対策	深い水路への落下防止対策(鹿島神社駐車場横、島町内等)	継続 市が管理する道路においては防止柵を設置基準に基づき実施。水路管理者としては注意喚起等ソフト対策に加えハード対策についても検討していく。	市内には多数の危険な水路があり私の住む地域(島町内)にも住人が実際に落下した場所があり通学路にもなっている。粘り強く対策を要望して行きたい。
公園・健康増進	スポーツ環境の整備 ①高砂市営球場の電光掲示板設置早期実現とその他整備(雨水対策、両翼の延伸等) ②向島多目的グラウンドの水捌け改善 ③高砂市総合運動公園内サブグラウンドと遊具エリアとの境界線の安全対策	①②継続・③新規 ①設置に向け検討中も雨水対策、両翼延伸も課題。今後施設の在り方検討の中で考えていく。 ②Bグラウンドの土増加による整地で改善はみえた。排水不良の箇所は今後順次取り組んでいく。 ③改善に向け取り組んでいく。	①実施に向け検討中とのことで早期実現を望んでいる。 ②原因調査と土増加等対策に動いて頂いているのは確か。根本的改善にかかるコストを考慮し無理強いはいできないと考えている。 ③実施済みであるが、安全への視点に終わりはなく、更に必要となれば対策を求めたい。
教育・子育て	高齢者の移動支援の充実(コミバス75歳以上無料乗車及び移動支援サポート制度の構築)	継続 高齢者の移動支援については福祉サービスだけではなくコミュニティバス、鉄道等を含めた公共交通を対象に適した方法を調査研究する。	高齢者の外出手段をどう確保していくかは非常に重要な課題。調査研究を早急に具体的施策に繋げて頂きたい。

会派要望(全部)は「たかお治久のホームページ」に掲載させて頂いておりますので、是非ご覧頂きたく、よろしくお願いします。

たかお治久の考えや活動は、日々更新しています。

「たかお治久の活動報告」ブログ(右QRコード)でも掲載しています。是非ご覧ください。

今後とも、ご支援よろしくお願いします。 <https://blog.goo.ne.jp/takao2233>



たかお治久HP



たかお治久ブログ

ぜひ、アクセスして下さい!



日常お困りの市政相談は、お気軽にお電話ください。 連絡所 TEL.079-445-2395 (カネカ労働組合高砂支部内)

高砂市議会議員 はる ひ さ

たかお治久

後援会報

活動報告 No.33

■発行/2024年1月 ■編集発行/鷹尾治久後援会 ■後援会連絡所/カネカ労組高砂支部内



新年明けましておめでとうございます。高砂市議会議員のたかお治久です。旧年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願い申し上げます。

さて、令和6年が既にスタートしていますが、今年は高砂市政70周年を迎えます。その高砂市にとって現在最も重要な課題が高砂市民病院の将来の在り方ではないかと捉えており、1人の議員として市民の皆様の思いをしっかりと受け止め、また将来の高砂市にとって何が一番良い姿であるのか、自分なりに考え行動していきたいと思えます。また、国事業である播磨臨海地域道路や県事業である山陽電鉄連続立体交差等、高砂市の姿を大きく変える事業も計画されています。

時代の流れの中でニーズを捉え最適な政策を実施していくことが政治の役割であると思うのですが、その一方で、市民やこの地で働く人、また関係する人それぞれがより良い高砂市をつくる担い手として行動を変えていくことも大切ではないかと考えています。

なお、今回の後援会会報では「アプリの紹介」、「令和5年9月の一般質問」、「次年度に向けた会派要望」を中心にご報告させていただきます。みんなの力で令和6年を素晴らしい一年にしていきたいと思います。

I 市民一人一人が高砂市を良くしていく

新年の冒頭ではありますが、より良い高砂市にしていけるために以下2つのアプリを紹介させていただきます。自らが社会をよくするとの気持ちを抱いて、是非ご活用頂きたくよろしくお願いします。

たかさごナビ中の「たかさごレポート」

01 APURI

直接届きます



道路や公園の危険箇所、その他日常生活での困りごと等についての改善要望を行政にその場で即報告・要望できる仕組みです。

詳細はリンク先QRへ



皆で使って高砂市を良くしよう



ダス取る・たかさご

02 APURI

あなたの活動がみんなに伝わる



専用アプリを活用した、高砂市内のごみ拾い活動を見える化するサイト。活動内容はサイト内で見える化されるため、ユーザー同士が感謝を伝え合うことで社会貢献感を得ることができます。

詳細はリンク先QRへ



01. より安全・安心な街を目指して

Q たかお

〔質問〕市内の道路や川、池、スポーツ施設など様々な公共施設があるが、行政としてどのような体制で危険箇所を発見し改善策を施しているのか。



A 行政

〔答弁〕市職員、指定管理者、外部委託等で点検実施している。公共施設の劣化に関する安全対策としては定期巡回点検で不具合箇所を把握し対応することで安全確保に取り組んでいる。しかしながら市内全域を市職員だけで把握するのは無理である為、「たかさごナビ」を活用して情報提供いただいている。今後は他団体からアドバイスをいただく手法など必要に応じてまた時代に合った調査・研究を進めていく。

高砂市総合運動公園(サブグラウンド)の安全対策

Q たかお

〔要望〕高砂市総合運動公園(サブグラウンド)の北東エリアに設置されている遊具で遊ぶ人々を危険から守る対策を求める。この春に事故があったことを承知しているかも確認したい。

〔理由〕令和5年の春、このエリアに設置された遊具で遊んでいた子ども連れの保護者に、サブグラウンド内で野球の練習をしていたお子さんの打ったボールが当たり救急車で運ばれる事案が発生しました。場所のレイアウトから遊具エリアに飛んできてくることは容易に予想される。実際に事故事例がある現場に対し、対策の必要性を感じての要望です。

A 行政

〔答弁〕この度の事案は予約を行わず無許可で利用され子どもたちだけで遊んでいた時に起こったと聞いている。現在行うべき安全対策としては、再度サブグラウンド内でボールを使用する場合の注意喚起や予約が必要であることを周知し、当該エリアにボールが飛ばない様に防ぐ方法を指定管理者と協議を進める。



協議後に対策完了されました

企業との連携による第三者目線での危険箇所削減

Q たかお

〔提案〕企業と連携し定期的に危険箇所抽出を行ってはどうか。

〔理由〕高砂市総合運動公園の例にもあるように、市内には様々な危険箇所が潜在していると考えます。普段見慣れた場所では、危険箇所が風景化し発見しにくい、安全意識の高い第三者(企業)の視点を取り入れることで市内の危険箇所をさらに削減し、より安全な高砂市にしていくべきだとの考えに基づく提案です。

A 行政

〔答弁〕今後、危険と予想される場所等へはハード、ソフト面での対策を行うとともにヒヤリハットの事例の収集やその活用手法、危険を予想する新たな手法や他団体からアドバイスをいただく手法など必要に応じて、また時代に合った調査・研究を進めていく。

02. 身近な市民相談とその解決に向けた行政の対応策について

サンモール跡地に対する行政の動きの丁寧な広報を求める

Q たかお

〔提案〕例えば高砂コミュニティーセンター掲示板に行政が先方(当該物件所有者)を訪問し交渉を求めたことだけでも掲示するなど行政の動きを市民に見せる動きをしてはどうか。

〔理由〕難題であり交渉の中身を開示できないことは理解するものの、高砂町の中心地である当該地を何とかすべきではないかとの市民の声があるのも確か。「市長や行政は何もしない」との声に対し、取り組んでいることを丁寧に広報することなど「努力してくれていることが分かるだけでも救われる」と考えての提案です。

A 行政

〔答弁〕これまででも交渉状況の定期的な情報開示に対しては適時進捗があれば可能な範囲での情報提供を検討していきたいと回答しているが掲示板に先方を訪問し交渉したことを都度掲示する考えは今のところない。

公共エリアの除草は「1箇所年2回」の見直しを求める

Q たかお

〔提案〕公共エリアの除草は現在「1箇所年に2回実施」と定まっているが、ケース別にその回数を見直し市民満足度を高めていくべきではないか。

〔理由〕行政が準備している駐輪場に隣接する市民の方より相談があり現地確認しました。財政的な負担を考慮して除草は原則1箇所年2回と定めていることは理解するが、行政が市民サービスとして提供している場所が雑草生い茂る状態(写真)でもこの原則を頑なに守ることが理解できず、ケース別の回数見直し対応をすべきとの提案です。

A 行政

〔答弁〕既に状況を確認して道路の安全な通行を確保するために除草回数を増やして対応している。また場所によっては防草シートを貼る対応を行っているところもある。これらを踏まえ市民満足度の観点からあらゆる状況に柔軟に対応し取り組んでいくことが必要であると考えている。
*なお一般質問の後、一定期間において2回目の除草が実施されました。



市役所窓口「おくやみコーナー」設置を求める

Q たかお

〔提案〕市役所窓口「おくやみコーナー」を設置すべき。
(※おくやみコーナー：死亡・相続に関する公的な手続きを効率的に行う行政サービス)

〔理由〕大切な人を亡くし、お葬式など様々なやるべきことを限られた時間の中で行き疲りを蓄積して来庁した人に対し、如何に精神的にも肉体的にも負担を少なく手続きを円滑に行うかは行政が市民に対してできる非常に大切なサービスであると考えます。

A 行政

〔答弁〕現在、書かない窓口の導入、おくやみコーナーの設置、事務処理方法の見直し等について検討中。他市事例を参考に関係部署とも協議しながら検討を進める。

*上記は一般質問(質疑)の抜粋です。詳細はインターネットにて録画放映されていますのでご視聴頂きたくよろしくお願いします。

高砂市議会
インターネット中継

